

まちの利用者を対象とした

## ミナミに対するアンケート結果概要

---

ミナミまち育てネットワーク 街づくり委員会

2010年7月

## 目次

---

アンケート実施概要 ..... 1-2

アンケート分析結果 ..... 3-19

まとめ ..... 20-21

# エリア比較を軸にミナミの全体像を把握する総合的調査

## 本アンケートの特徴

- ミナミ全域を対象とした統一的調査
- ミナミの日常的利用者である昼間人口が主な対象者
- ミナミ内5エリアに「キタ」を加えた6エリアを設定し、同じ基準で比較
- エリアごとの来街者のプロフィールが分かる
- エリアごとの利用状況からエリアへの評価や要望までが総合的に分かる

## アンケート概要

### 1. 調査目的

本調査は、街づくり委員会の大きなテーマである「外からミナミを知ろう」という試みの一環として、街の現状を客観的に把握し、「ミナミの将来ビジョンの策定」や「課題解決に向けた実践活動」を検討するための基礎データを得ることを目的として実施した。

### 2. 調査対象者

ミナまち育てネットワーク会員企業の社員およびその家族・友人  
ミナまち育てネットワーク会員商店会等の店舗経営者、従業員等

### 3. 調査方法

インターネットアンケート: アンケート専用ページにアクセスし回答する方法  
留め置きアンケート: アンケート票を手渡しし、各自記入後に手渡しで回収する方法

### 4. 回収サンプル数

合計 971サンプル (当初目標500サンプル)  
インターネットアンケート 466サンプル  
留め置きアンケート 505サンプル

### 5. 調査実施期間

2010年1月18日(月)～1月29日(金)

## エリア区分





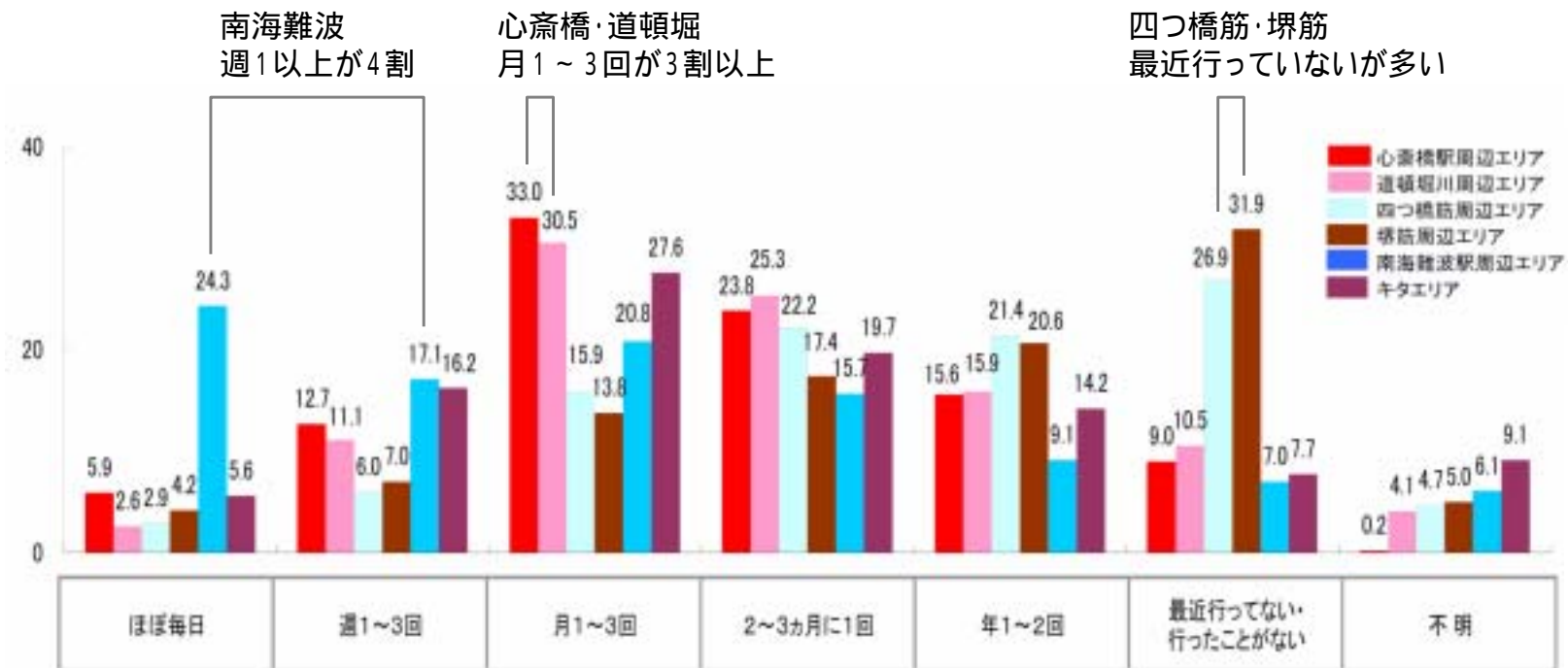
週一度は南海難波、月数回は心斎橋と道頓堀、年数回は四つ橋筋と堺筋へ。

「南海難波」は約4割が「週1回以上」利用。

「心斎橋」と「道頓堀」は約3割の人が「月1～3回」利用。

「四つ橋筋」「堺筋」は約4割が「年数回」の利用。「最近行っていない」人も多い。

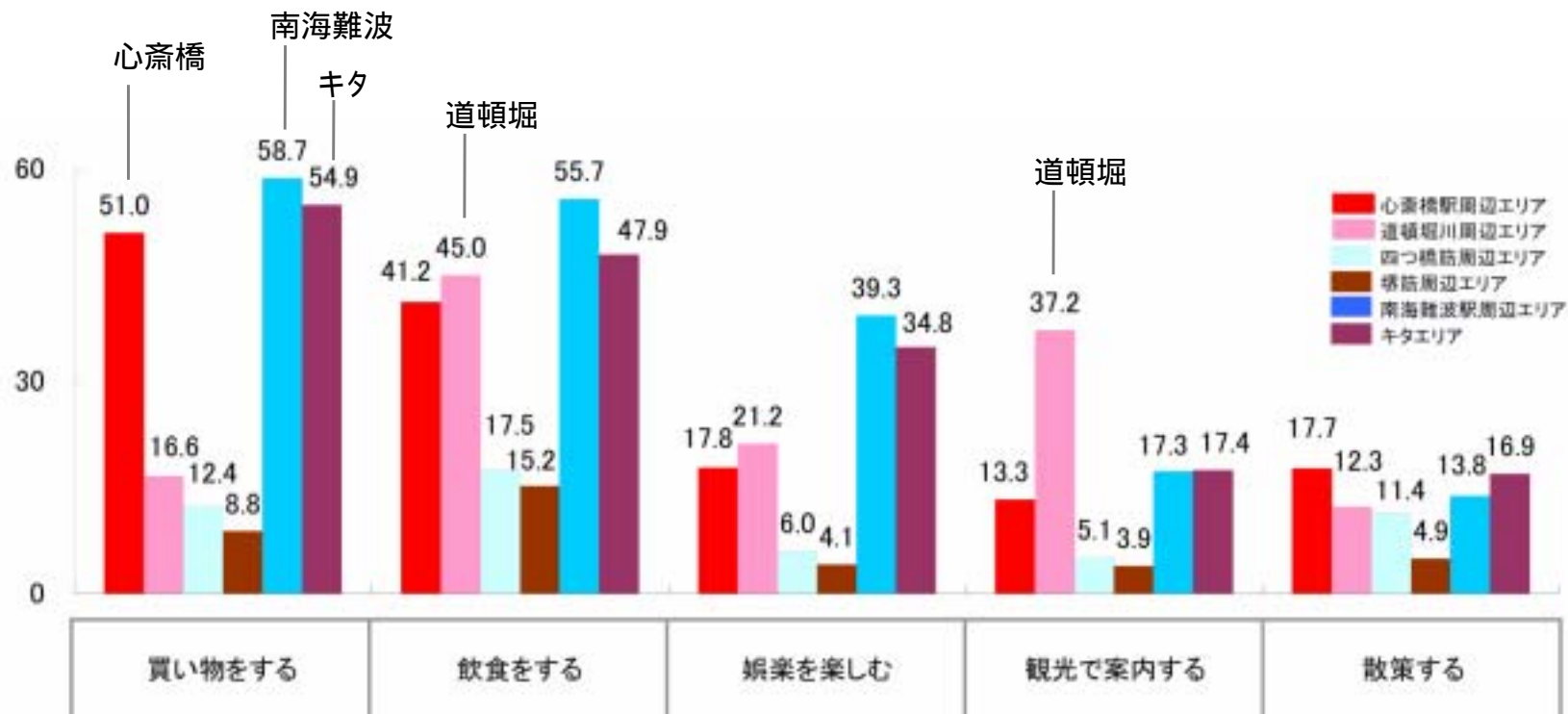
Q：各エリアをどのくらいの頻度で利用していますか？ただし、通勤や通学で通過するだけの日は利用に含めないものとお考えください。(SA)



# 南海難波とキタのターミナルでオールラウンドな利用。道頓堀は飲食・観光に強み

「買い物」は「南海難波」と「キタ」の2大ターミナルと「心斎橋」がけん引。  
 「飲食」は上記に加えて「道頓堀」が加わる。  
 「娯楽」は2大ターミナル「南海難波」と「キタ」に集中。  
 「観光」は「道頓堀」が突出。ミナミにとって道頓堀独自の利用目的は貴重。

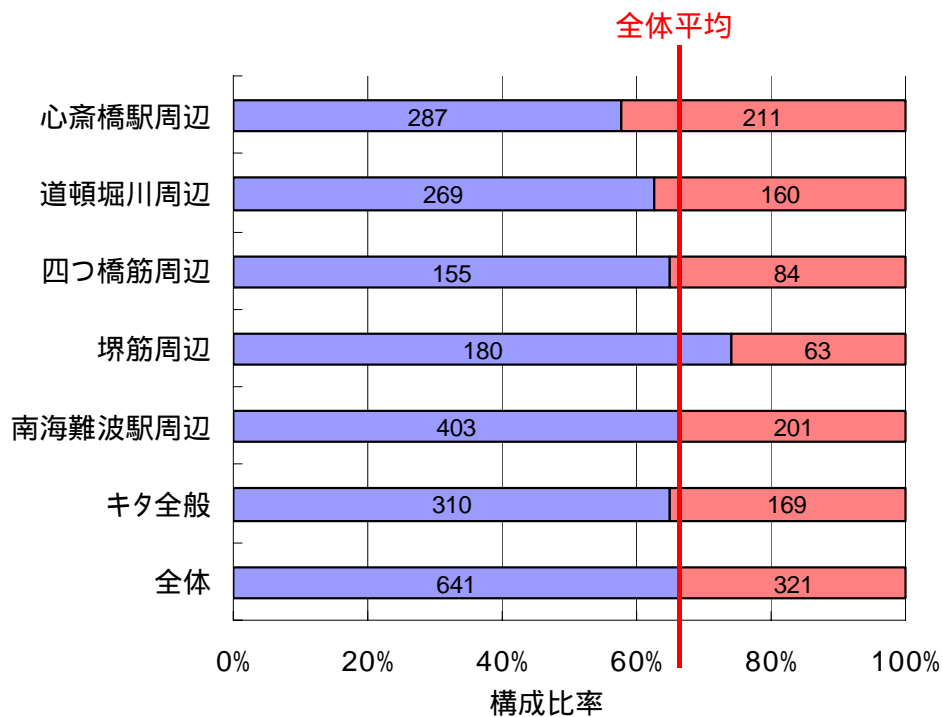
Q：下記の目的で出向くのはどのエリアが多いですか（MA）



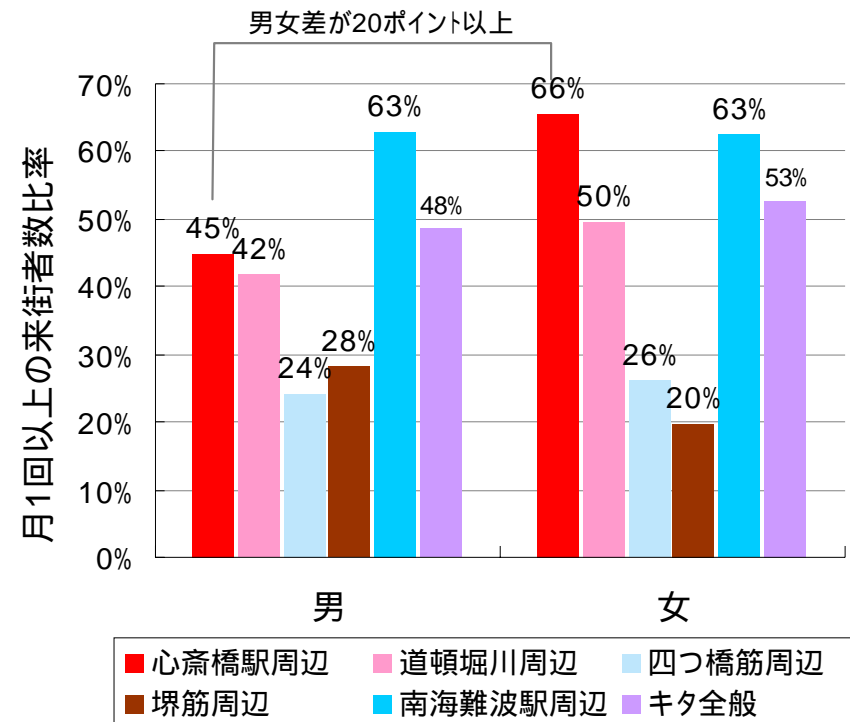
「心齋橋」は女性比率が高く、月1回以上の来街比率は「南海難波」「キタ」を上回る。

「心齋橋」は他エリアと比べて女性の比率が高い。(全体平均と比べて10%程度高い)  
 女性全体の2/3が月1回以上訪れると回答し、男性の比率より20ポイント以上高い。  
 月1回以上訪れる人の割合はターミナルである「南海難波」「キタ」よりも高い。  
 「堺筋」は他エリアと比較して男性の比率が高い。(全体平均と比べて7%程度高い)  
 「堺筋」は男性の来街比率が女性を10%近く上回る。

月1回以上訪れる人の男女構成比率



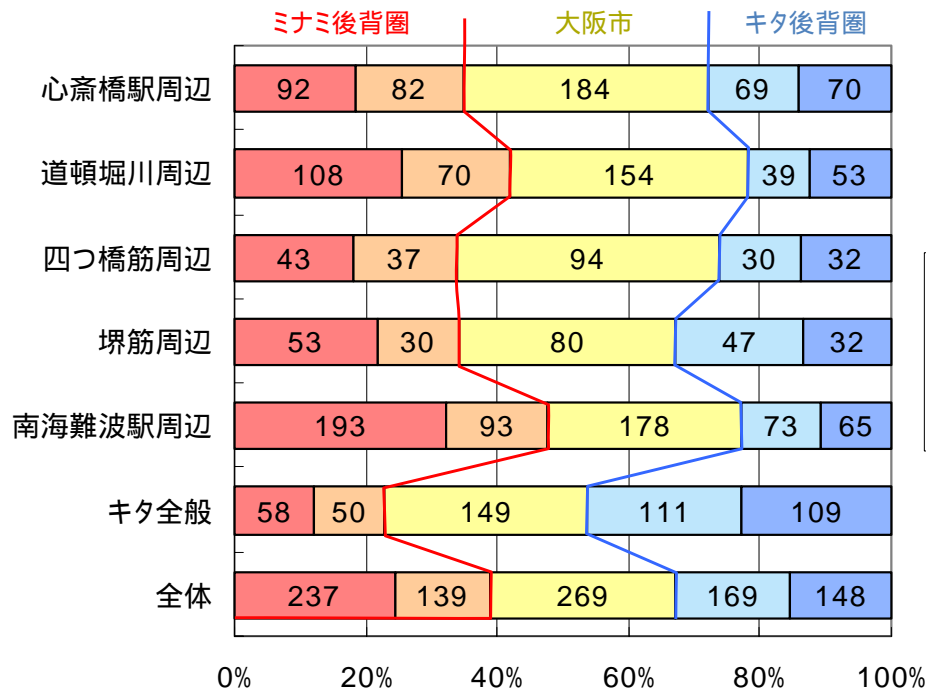
月1回以上訪れると答えた人の割合



## 南方面居住者は南海難波に留まり、心齋橋の利用頻度は低い。

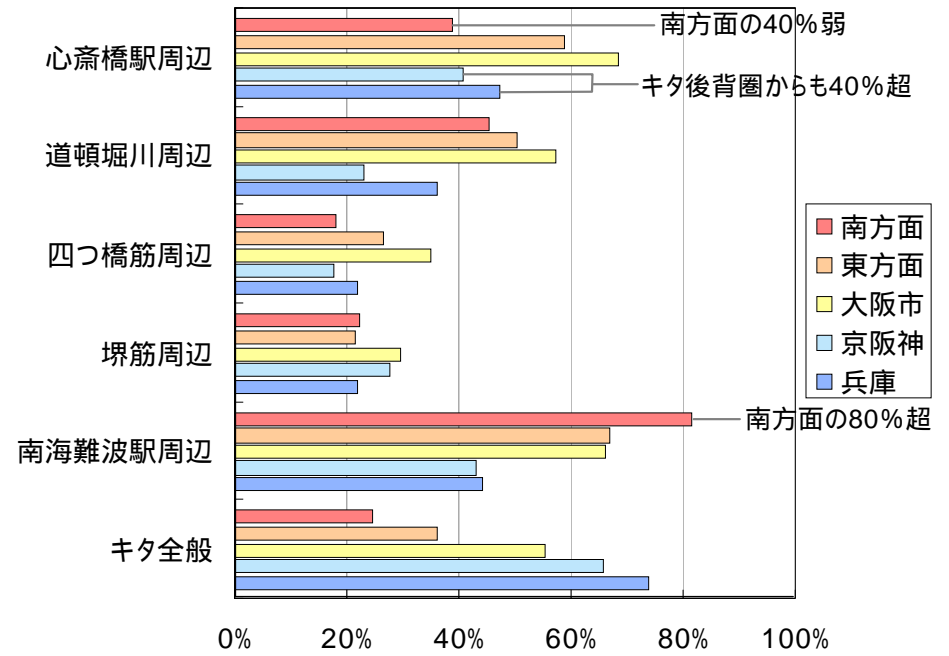
「南海難波」は南及び東方面居住者の構成比率が高い。南方面居住者の8割超が月1回以上来訪。一方で南方面居住者のうち「心齋橋」を月1回以上訪れる人は4割を下回り、キタエリアの後背圏である「京阪神」「兵庫」居住者を下回る。「道頓堀」は京阪神居住者の構成比率が低く、月1回以上訪れる人の割合は「心齋橋」の約半分程度。「堺筋」は京阪神や兵庫の構成比率が高い。居住地に関係なく来街比率がほぼ一定。

月1回以上訪れる人の居住地構成比



居住地分類  
 南方面：堺市、府南部・南東部、和歌山県  
 東方面：府東部、奈良県  
 京阪神：府北東部、府北部、京都府、滋賀県

居住地別の月1回以上の来街者比率

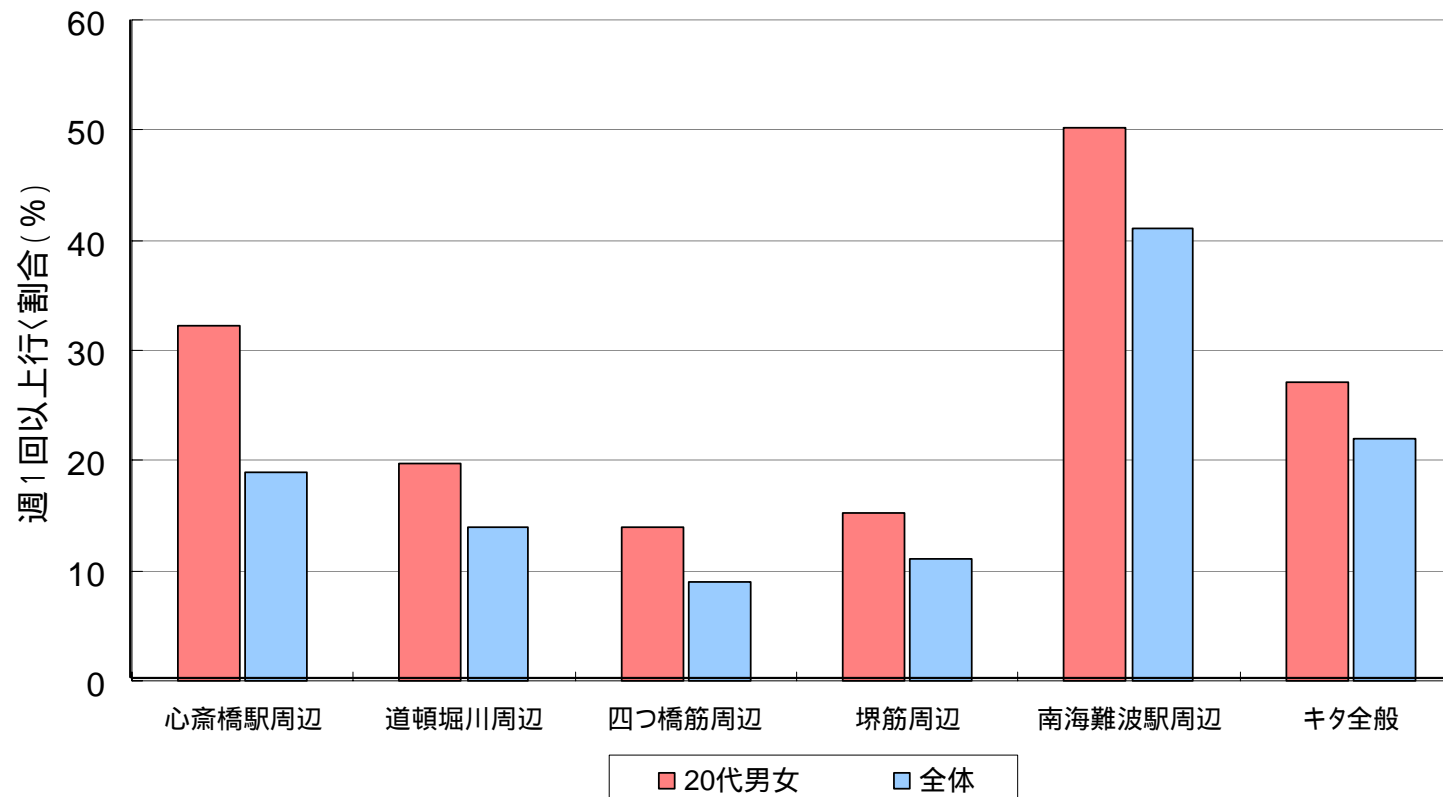




## 若者はまちのヘビーユーザー、「南海難波」「心斎橋」の利用が特に多い。

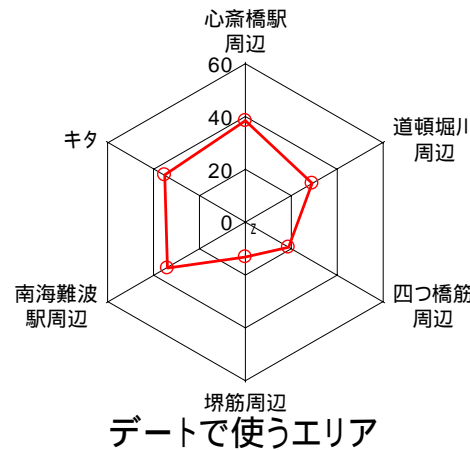
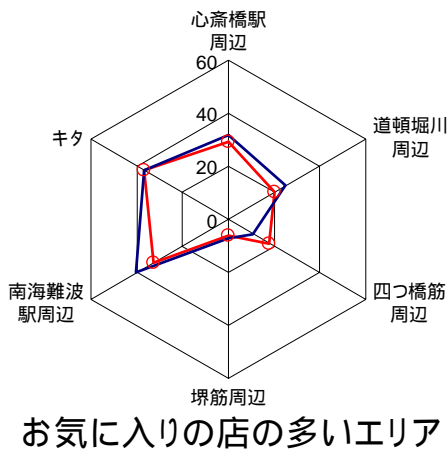
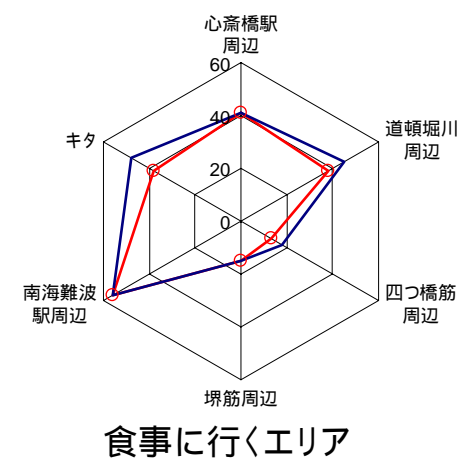
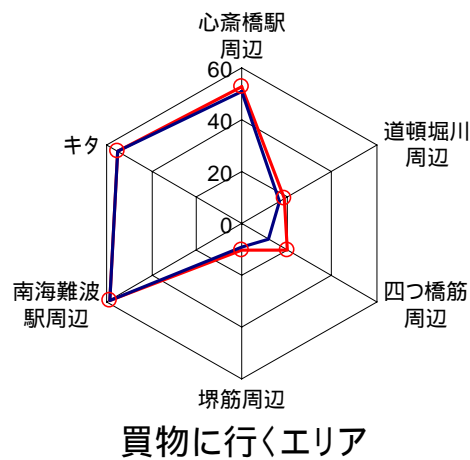
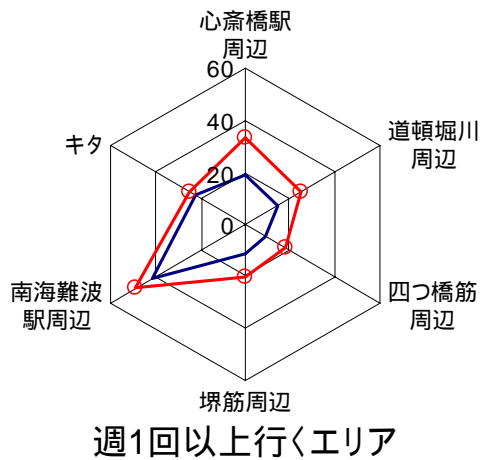
「南海難波」が全体と同様に利用頻度が高い。約半数は週1回以上訪れる。  
「心斎橋」が2位で他の年代と比較して利用頻度が高い。約3割が週1回以上訪問。  
他の年代と比較して行動的。週1回以上訪れる比率はどのエリアも全体より高い。

Q：各エリアをどのくらいの頻度で利用していますか？ただし、通勤や通学で通過するだけの日は利用に含めないものとお考えください。（SA）



## 20代男性は街のヘビーユーザー。南海難波、心斎橋をよく利用している。

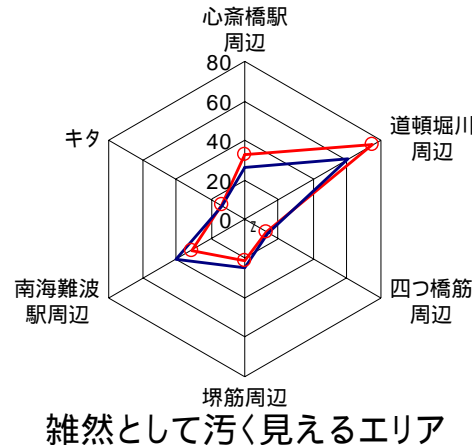
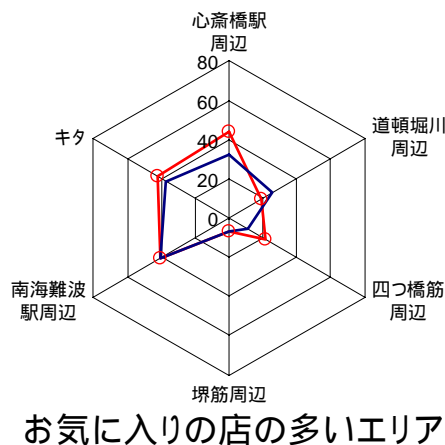
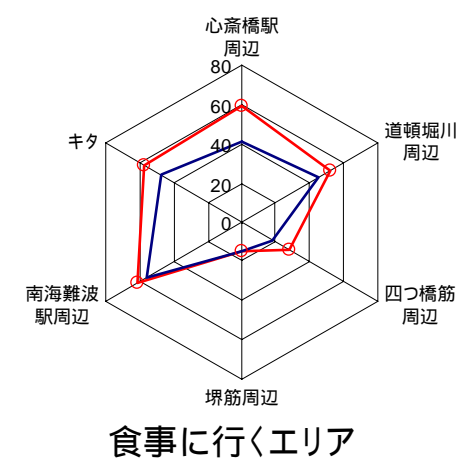
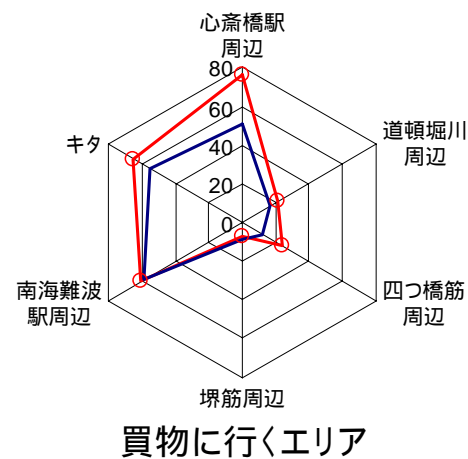
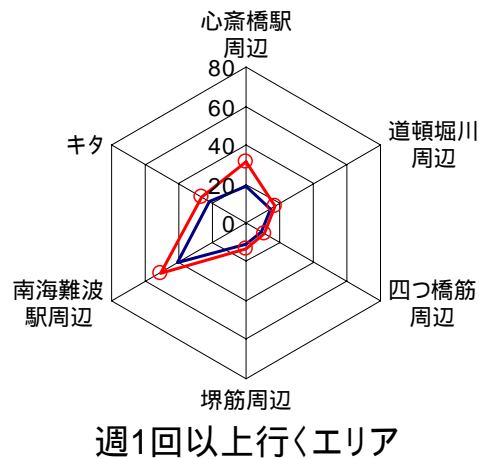
20代男性はミナミの街をよく利用している。特に南海難波、心斎橋の利用が顕著。  
 買物、デートは心斎橋、南海難波、キタを同じくらい利用。  
 食事については他の世代同様に南海難波が頭ひとつ抜け出し、道頓堀やキタの利用が比較的少ない。  
 他の世代に比べて、買物やお気に入りの店といった項目で四つ橋筋を評価。



全体平均 —  
 20代男性 —○—

## 20代女性の買物は心齋橋が人気。食事はいろいろな街を利用している。

20代女性も20代男性同様ミナミの街をよく利用している。特に南海難波の利用が顕著。  
 買物については心齋橋が圧倒的に多く、わずかではあるが南海難波よりキタの利用が多い。  
 食事については南海難波の他、心齋橋、道頓堀やキタの利用が同じくらいで、いろいろな街を食べ歩き。  
 四つ橋筋エリアはほとんどの項目で他の世代より高い評価を受けており、若い女性の支持が高い。  
 20代女性の75%が街が雑然として汚く見える点に関して道頓堀に特に厳しい評価。

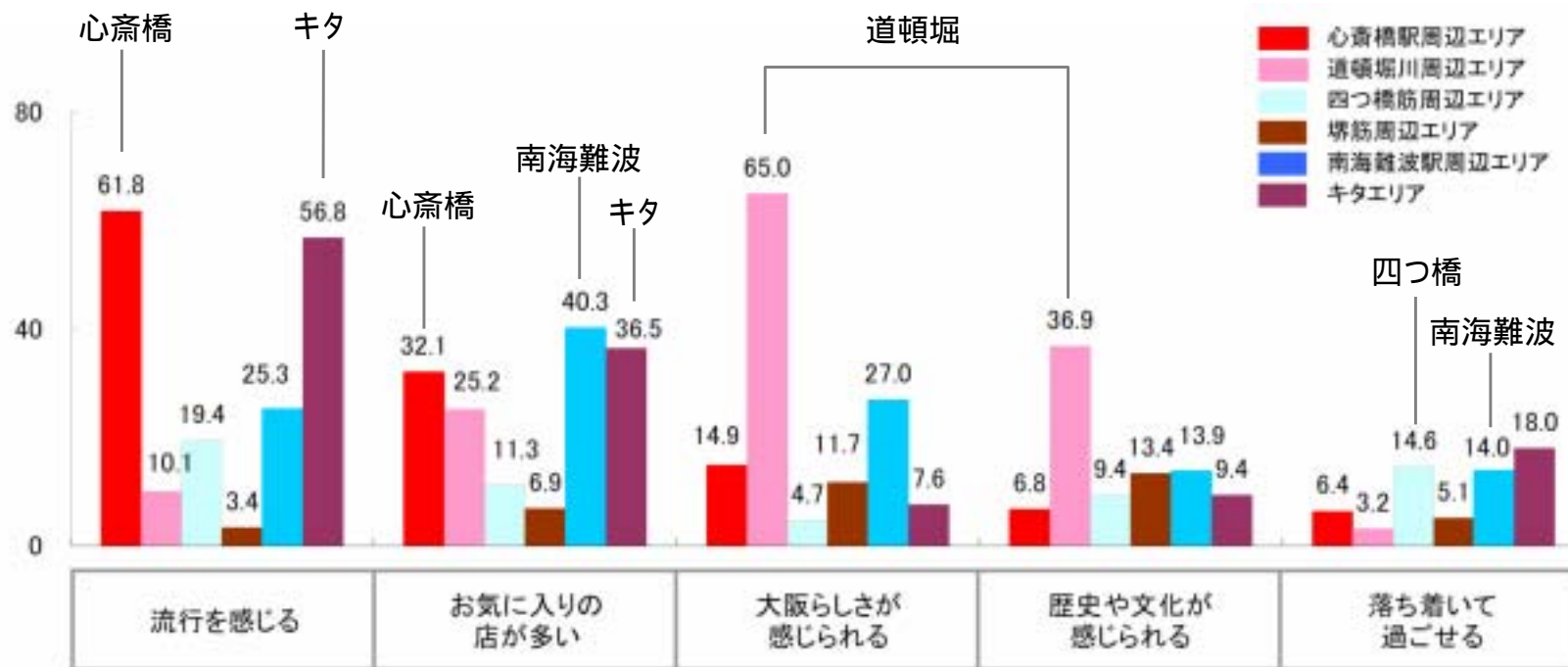


全体平均 ————  
 20代女性 —○—

「流行を感じる」心斎橋、「大阪らしさ」や「歴史文化」を感じる道頓堀。

「流行を感じる」は心斎橋、キタが突出して高い評価。買い物目的での利用頻度が高かった南海難波はここでは評価が高くない。  
 「お気に入りの店」は南海難波、キタ、心斎橋の回答が多い。利用頻度の高いエリアが高評価を獲得。  
 「大阪らしさを感じる」「歴史文化を感じる」では道頓堀が突出して高評価となった。  
 「四つ橋」「南海難波」は「キタ」に次いで落ち着いて過ごせるという評価が高い。

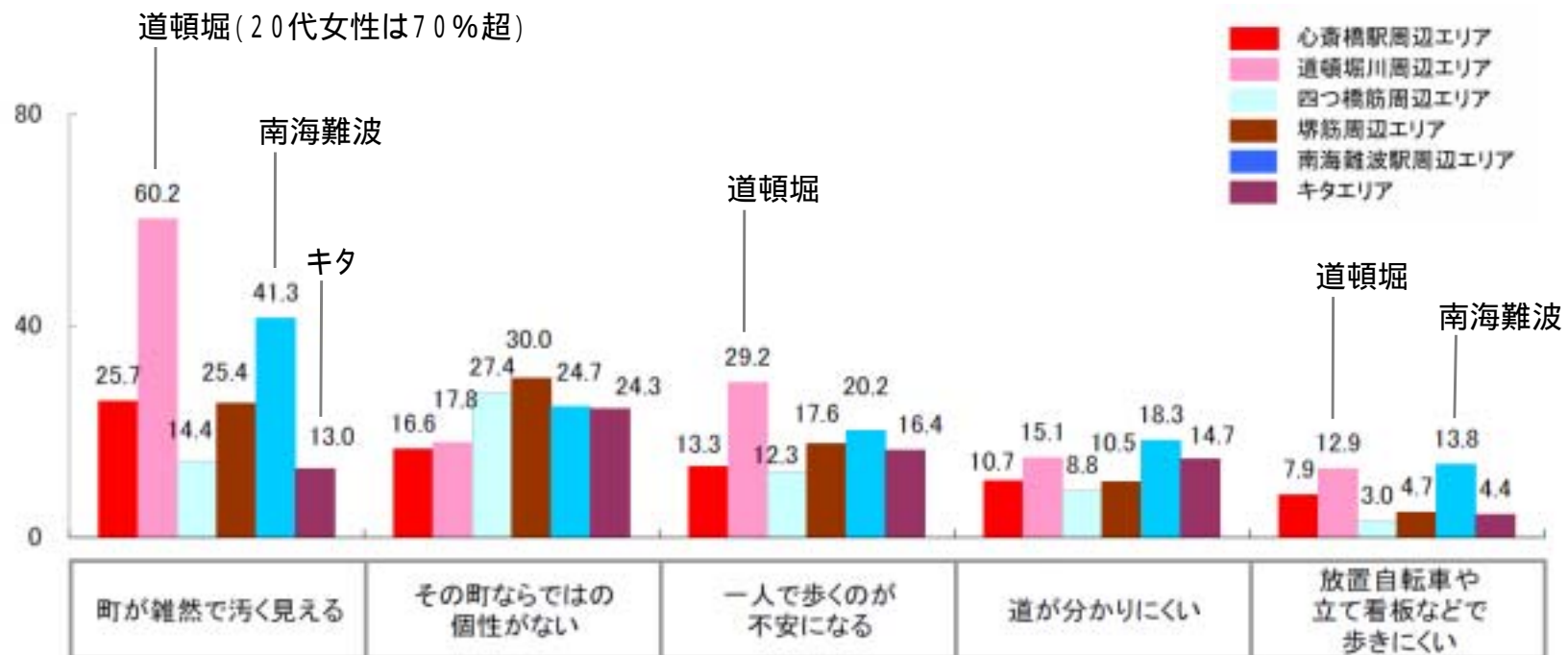
Q：ミナミの各エリアおよびキタのどのような点が魅力だと思いますか（MA）



## 6割を超える人が道頓堀を「雑然で汚く見える」と評価。

「雑然で汚く見える」が他のマイナス評価項目と比べて指摘が多い。  
 キタ13%と比較してミナミのいずれのエリアも「雑然で汚い」と思われている。  
 「道頓堀」で60%超、「難波」で40%超が「雑然で汚く見える」と評価。  
 特に20代女性の評価は厳しく「道頓堀」では70%超が「雑然で汚く見える」と評価。  
 「一人で歩くのが不安になる」についても道頓堀が30%近い人が指摘。  
 「放置自転車等で歩きにくい」は「南海難波」「道頓堀」で高い。

Q：ミナミの各エリアおよびキタどういう点で魅力を損ねていると思いますか（MA）

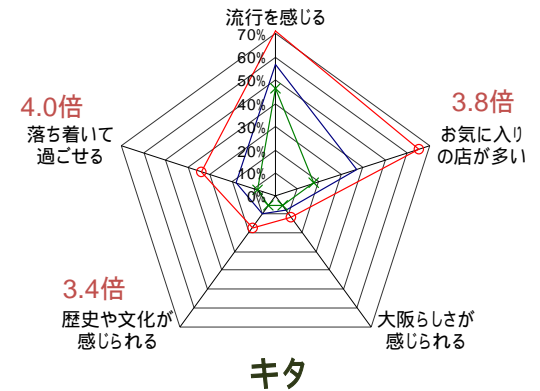
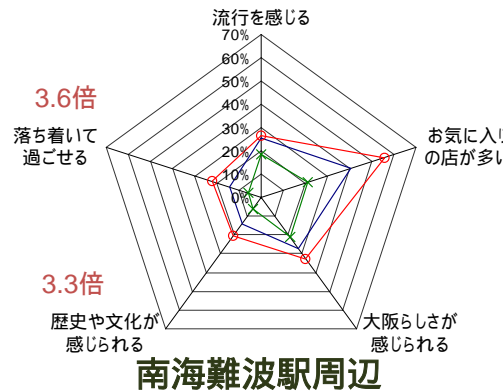
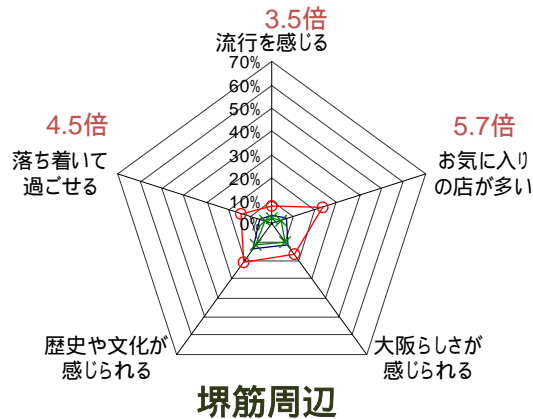
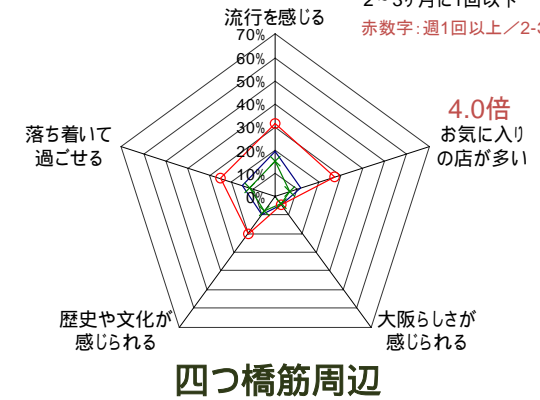
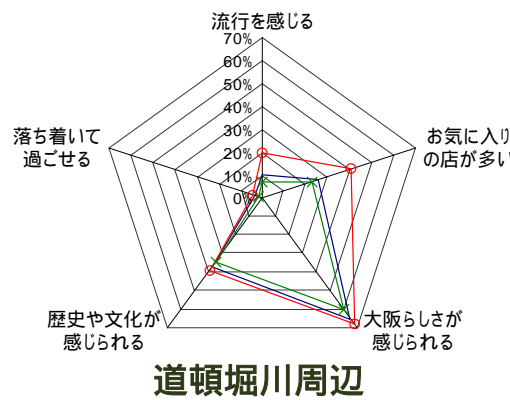
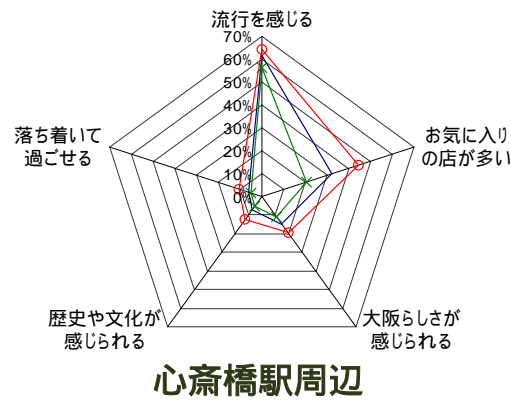


「四つ橋」「堺筋」「南海難波」ではまちの利用頻度により評価の差が大きい

「四つ橋筋」「堺筋」「南海難波」「キタ」は来街頻度による評価のギャップが総じて大きい。  
 「四つ橋筋」「堺筋」は「お気に入りの店」で来街頻度によるギャップが大きい。それぞれ堀江地区や日本橋地区等で特定のヘビーユーザーを獲得しているためと考えられる。  
 「南海難波」は「落ち着いて過ごせる」で来街頻度によるギャップが大きい。「なんばパークス」の認知度の差によりエリア全体のイメージに差が生まれていると考えられる。

Q：ミナミの各エリアおよびキタのどのような点が魅力だと思いますか（MA）

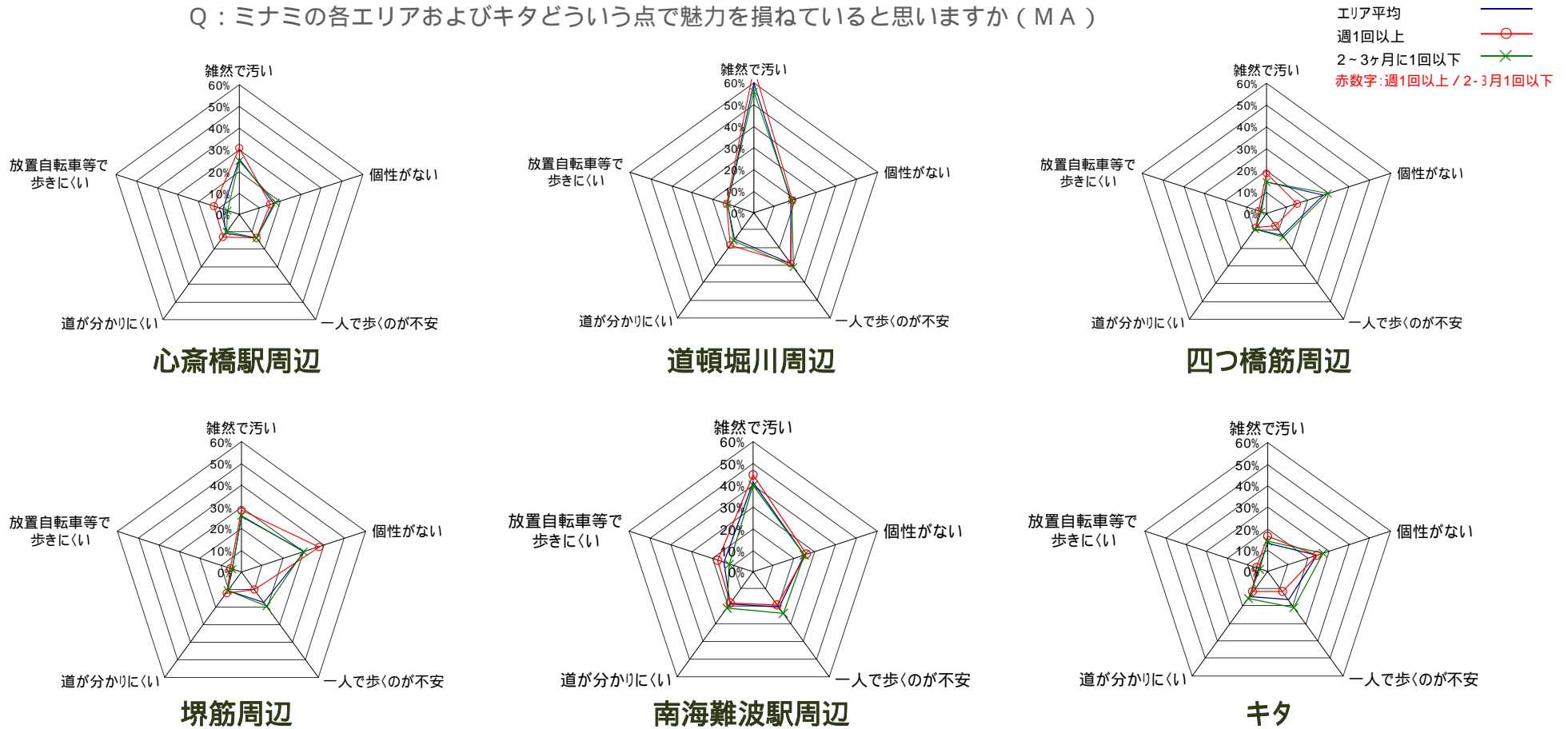
エリア平均  
 週1回以上  
 2～3ヶ月に1回以下  
 赤数字：週1回以上/2-3月1回以下



# 「四つ橋」「堺筋」「南海難波」ではまちの利用頻度により評価の差が大きい

マイナス評価ではプラス評価と比べて来街頻度による評価の差は総じて小さい。  
 どのエリアでもヘビーユーザーほど「まちが雑然で汚い」とする人の割合が高い。  
 「心斎橋」「南海難波」ではヘビーユーザーほど「自転車等で歩きにくい」とする人の割合が高い。  
 「四つ橋」では来街頻度によって「個性がない」「一人で歩くのが不安」とする人の割合の差が大きい。  
 「堺筋」では来街頻度によって「一人で歩くのが不安」とする人の割合の差が大きい。

Q：ミナミの各エリアおよびキタどういう点で魅力を損ねていると思いますか（MA）



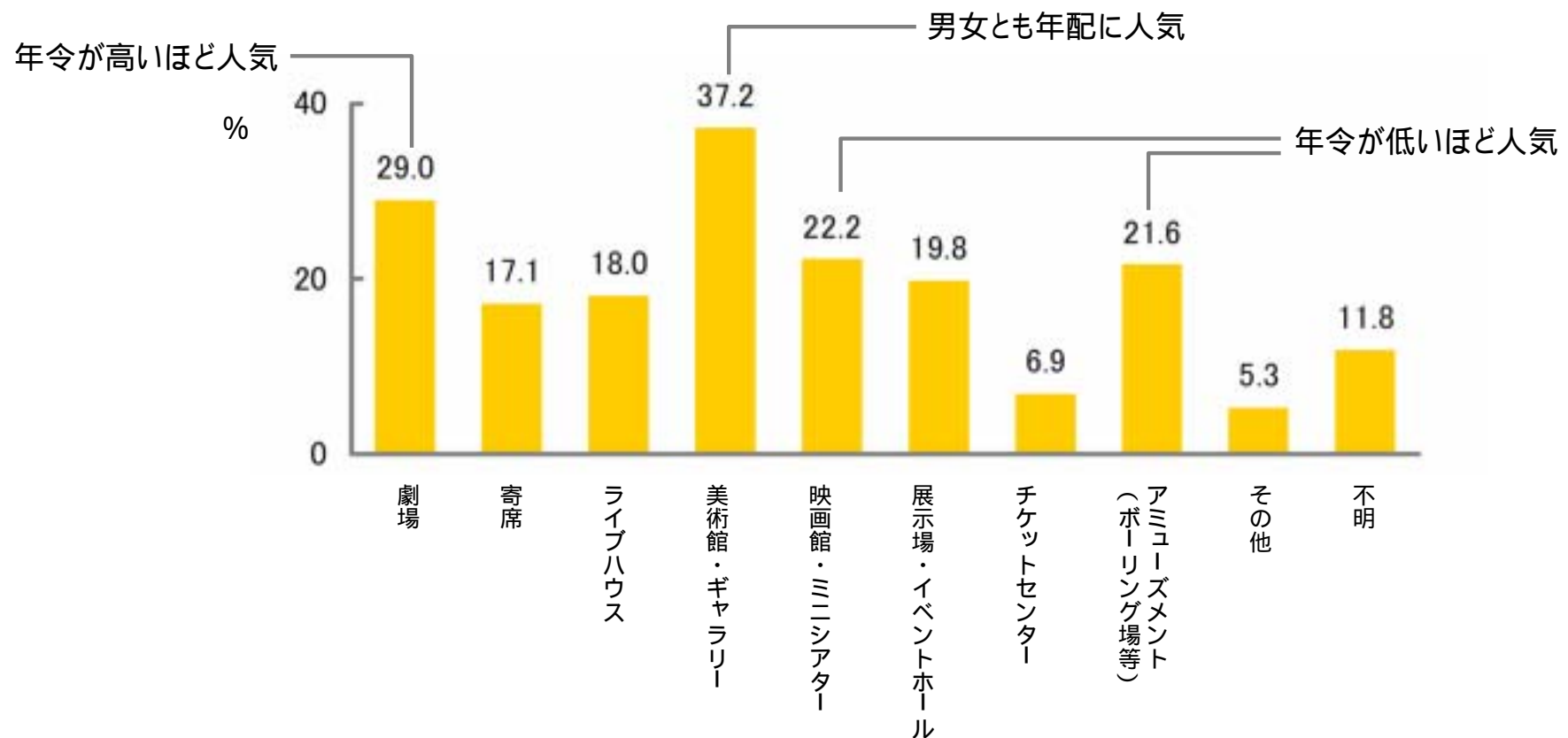


## 「美術館・ギャラリー」がトップ。年齢により要望施設に差。

全体で最も人気が高いのは「美術館・ギャラリー」。特に男性50才以上、女性40才以上に人気が高い。以下、「劇場」「映画館・ミニシアター」「アミューズメント(ボーリング等)」「展示場・イベントホール」の順に要望が多い。

「劇場」は年齢が高いほど要望が高いが、「映画館・ミニシアター」「アミューズメント(ボーリング場等)」については20才代の要望が高い。

Q：ミナミにもっとあったらいいと思うものを挙げて下さい(MA)

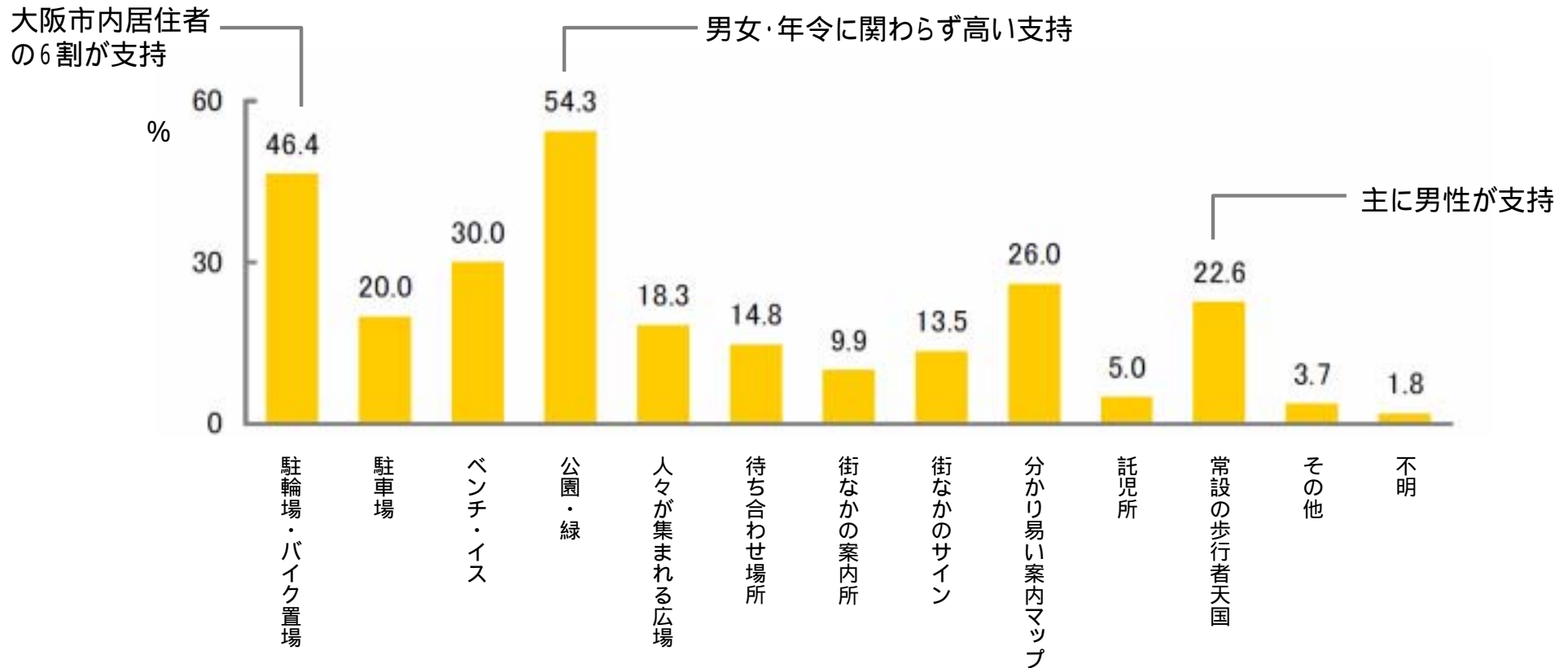




「公園・緑」「ベンチ・イス」などゆとりが求められている。

全体で最も人気が高いのは「公園・緑」で男女・年齢を問わず支持が高い。  
次に駐輪場・バイク置き場の支持が高く、特に大阪市内居住者の6割が支持している。  
「ベンチ・イス」「常設の歩行者天国」も支持が高く、空間のゆとりが求められていると言える。

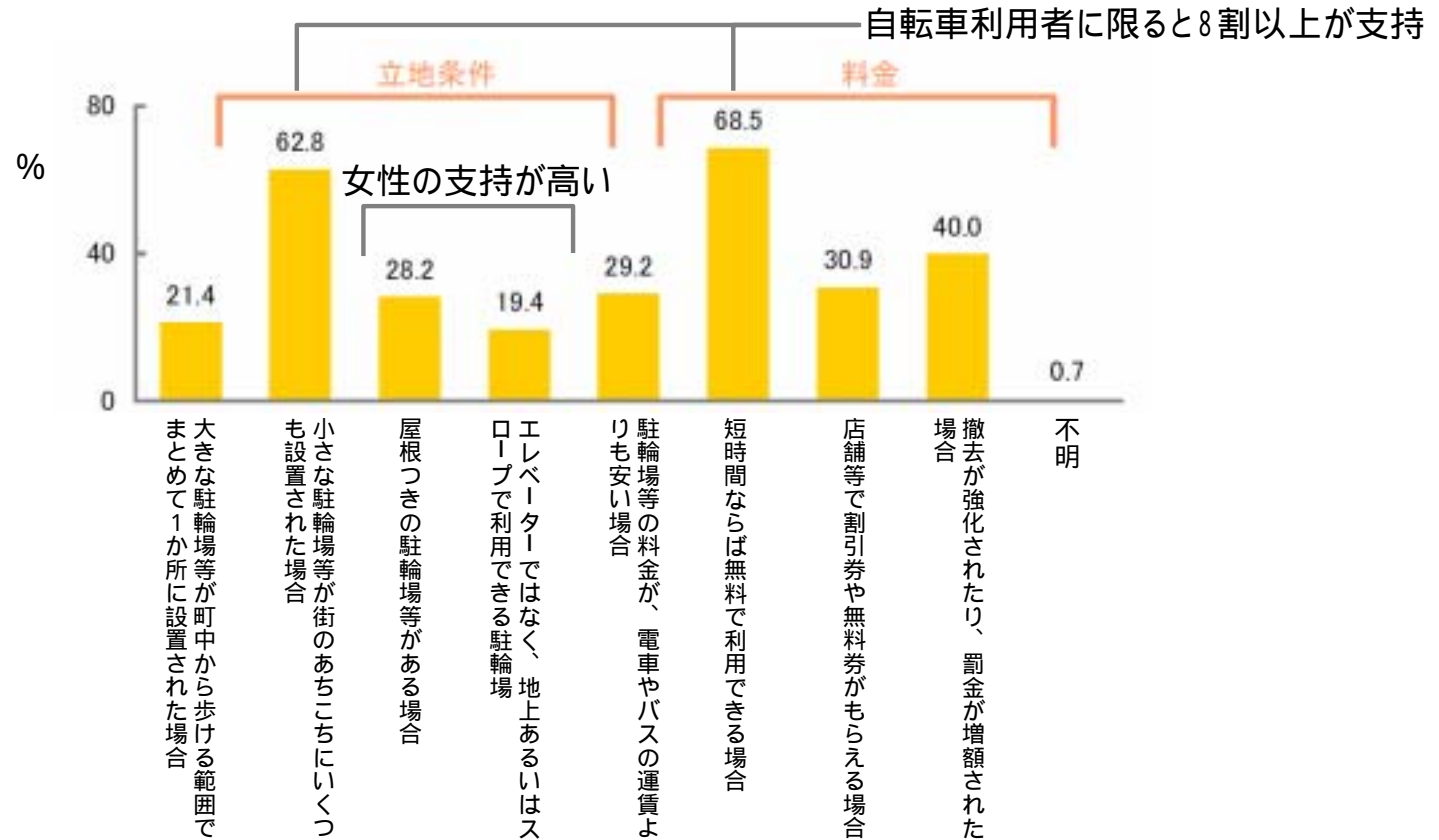
Q：ミナミにもっとあったらいいなと思うものを挙げて下さい（MA）



「街のあちこちに」、「短時間無料」の駐輪場設置が求められている。

駐輪場については分散配置と短時間無料対応の要望が高く、特に自転車利用者に多いことから、この2つの施策の実効性は高いと考えられる。  
女性からは、屋根付きの駐輪場や、地上に近い駐輪場が求められている。

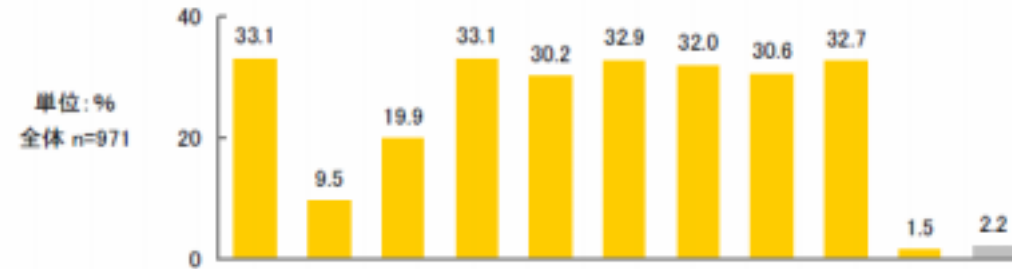
Q：路上の自転車やバイクをなくすための対策についてお伺いします。あなたならどのような場合に定められた駐輪場やバイク置場（以下駐輪場等）に停めると思われますか（MA）



## まちの情報の入手経路は多彩。女性はフリーペーパーを活用。

テレビなど7つのメディアが30%を超え、情報の入手経路が多様化しているのが伺える。  
 若い女性にはフリーペーパー、テレビ、雑誌、インターネットが有効な媒体でありこれらの情報が職場の  
 口コミ情報によりさらに伝播する図式となっている。  
 40代女性ではインターネットよりもテレビが有効。女性はフリーペーパーを有効な情報源としている。  
 年齢が上がるほど新聞からの情報入手が増えてくる傾向がある

Q：ミナミに関する情報を何で見聞きしますか（MA）

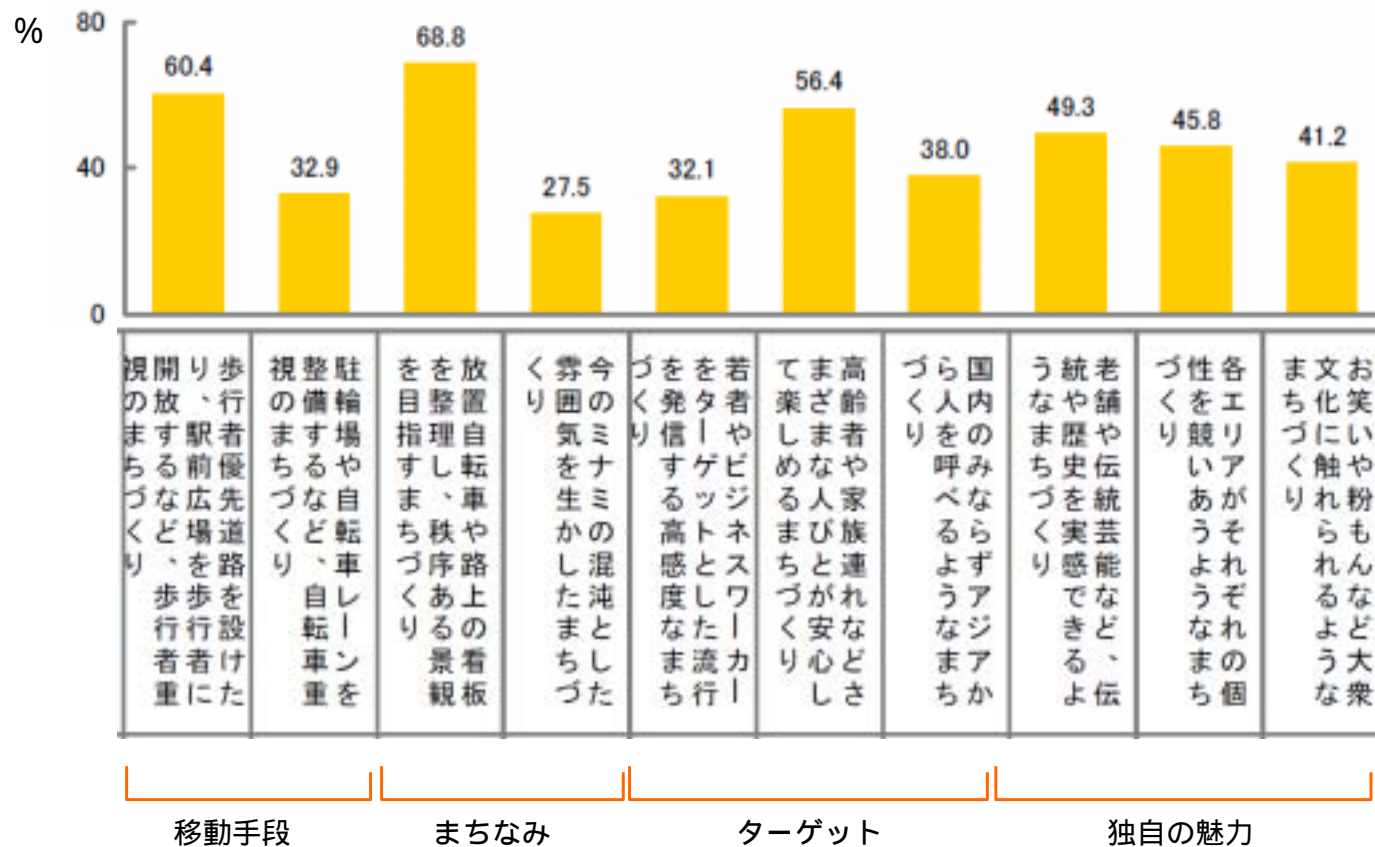


		サンプル数	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	インターネット	街中の案内所・ 広告・看板等	フリーペーパー・ マガジン	家族や知人など からの口コミ	職場	その他	不明
全体		971	33.1	9.5	19.9	33.1	30.2	32.9	32.0	30.6	32.7	1.5	2.2
性別×年代別	男性	644	32.3	10.2	23.1	31.5	30.7	31.4	25.2	27.0	31.2	1.2	2.5
	20～29才	93	29.0	9.7	6.5	30.1	34.4	34.4	25.8	24.7	22.6	2.2	7.5
	30～39才	158	36.1	14.6	18.4	27.8	32.9	27.8	26.6	23.4	38.6	-	1.3
	40～49才	210	30.5	7.1	28.6	36.7	31.9	27.6	24.8	31.9	29.5	1.9	2.9
	50才以上	180	32.8	10.0	30.0	29.4	25.6	37.8	23.9	26.1	31.7	1.1	0.6
	女性	323	34.7	8.0	13.6	36.2	29.1	36.2	45.8	37.8	35.9	2.2	1.2
	20～29才	136	34.6	8.8	7.4	38.2	35.3	36.8	44.1	44.9	36.8	2.9	0.7
	30～39才	105	34.3	4.8	15.2	37.1	29.5	38.1	49.5	38.1	38.1	1.0	1.0
	40～49才	65	38.5	9.2	24.6	38.5	21.5	30.8	49.2	30.8	29.2	1.5	3.1
50才以上	16	25.0	18.8	12.5	6.3	-	43.8	18.8	6.3	43.8	6.3	-	

「歩行者重視」「秩序ある景観」「高齢者や家族連れ」を志向する人が多い。

移動手段：「歩行者重視」を支持する人が6割、「自転車重視」は3割。  
 まちなみ：「秩序ある景観」を支持する人が7割、「ミナミらしい混沌」を支持する人は3割弱。  
 20代女性では「混沌」に対する支持は2割を切る。  
 ターゲット：「若者やビジネスワーカー」「アジア」よりも「高齢者や家族連れ」が安心して楽しめるまちを志向する人が多い。  
 独自の魅力：「伝統や歴史」「各エリアの個性」「お笑いや粉もん」がほぼ並んで支持されている。

Q：今後のミナミのまちづくりにおいて、どのような方向を重視するのが適当であると思いますか。（S A）



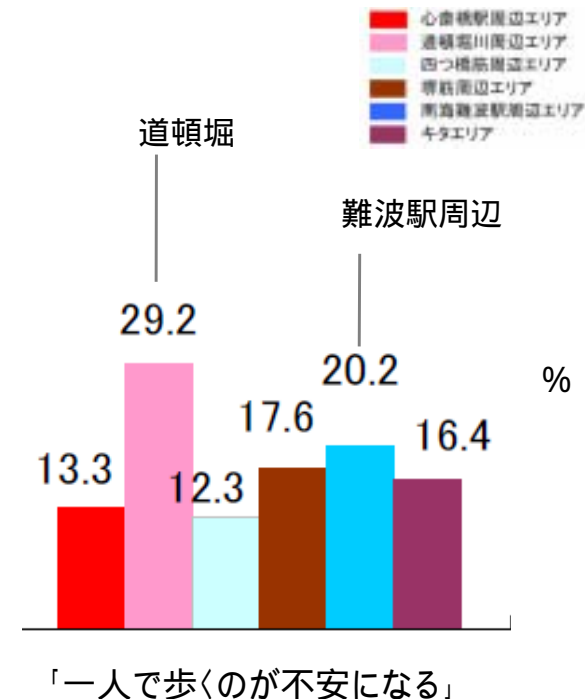
## 自由回答した3割の人が「治安が悪い」ことの改善を求めている。

自由回答のトップは「治安が悪い」で回答者数の3割の人が指摘。  
 「怖い」「犯罪」「風俗」「客引き」等のキーワードが目立つ。  
 第2位以下「自転車マナー」「まちが汚い」「歩きにくい」と続き、まちの魅力以前の基礎的なまちの環境  
 に対して改善を求める声大きい。  
 「道頓堀」で約3割の人が「一人で歩くのが不安になる」と指摘。  
 第2位の「南海難波駅周辺」20%や「キタ」約16%と比べて突出している。

Q：ミナミの街を活性化するため、取り組むべきことや改善すべきことなどご意見があれば自由にご記入ください。

回答者数合計257人

順位	指摘事項	回答数	割合
1	治安が悪い	78	30%
2	自転車マナーが悪い	69	27%
3	まちが汚い	45	18%
4	歩きにくい	32	12%
5	お店の質が低下	23	9%
6	まちなみが雑然	20	8%
6	文化・エンタテインメントの強化	20	8%
8	まちの多様性を活かす	19	7%
9	イベントの充実	15	6%
10	喫煙マナーが悪い	14	6%





独自のターゲット、ニーズに応える個性豊かなエリアの集合体。

四つ橋筋エリア

落ち着いて過ごせるエリアとして若い世代の支持を獲得

<アンケート結果>  
若い世代、特に女性から高い支持  
「落ち着いて過ごせる」で高評価

南海難波駅周辺エリア

よく利用するお気に入りの店が集まり、幅広い層の支持を獲得

<アンケート結果>  
全体の約4割が週1回以上利用  
南部居住者の8割超が月1回以上利用  
「お気に入りの店が多い」で高評価

心斎橋駅周辺エリア

トレンド発信源として女性から熱い支持を獲得

<アンケート結果>  
女性の7割近くが月1回以上利用  
「流行を感じる」割合はキタより高い  
キタ後背圏を含む関西広域から集客

道頓堀川周辺エリア

最も大阪らしさが感じられるエリアとして観光客を誘引

<アンケート結果>  
観光、飲食目的の利用で強み  
「大阪らしさ」「歴史や文化」で高評価

堺筋周辺エリア

電気店、アニメ関連店舗の集積で関西全域から集客

<アンケート結果>  
男性比率が高い  
京阪神含め関西全域から集客

利用者目線でのまちの課題が浮き彫りに。具体的な施策の実行が必要。

<p>治安に対する不安の声が大きい</p>	<p>「治安が悪い」「一人で歩くのが不安」等の指摘が多い。特に若い女性からは厳しい指摘を受けている。自由回答においても第1位であり、具体的な対応策が求められている。</p>
<p>雑然としたまちなみの改善が必要</p>	<p>「雑然で汚く見える」との指摘がキタと比べてミナミ全般に高く、「混沌」より「秩序ある景観」を支持する声が多い。ミナミらしさを生む良い「混沌」と雑然さを生む悪い「混沌」のルールづくりが必要。</p>
<p>南北軸に比べて東西軸の回遊性が弱い</p>	<p>南海難波、道頓堀、心斎橋という南北軸と比べて、堺筋、四つ橋の来街頻度が低い。それぞれ特定のターゲットの支持があるものの、来街頻度を高め、より広域からの集客を実現することが求められる。</p>
<p>放置自転車に対する継続的対応が必要</p>	<p>駐輪場ニーズは非常に高い。一方で自転車重視への支持は低く、自転車利用者のためというより、まちなみを雑然とさせる元凶として放置自転車への対策が求められている結果である。</p>
<p>ゆったりと過ごせるまちづくりへの転換</p>	<p>「緑・公園」「美術館・ギャラリー」に対するニーズ、「歩行者重視」「高齢者や家族連れが安心して楽しめるまち」への支持など、ゆったりと過ごせるまちへの志向が高い。</p>
<p>道頓堀は良くも悪くもミナミの象徴</p>	<p>大阪らしさ、歴史、文化が感じられることに高い評価を得ており観光での来街という他にはない強みを持っている。一方で「治安が悪い」「雑然」等のマイナス面を指摘する割合も高い。</p>